

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

公共料金（電気料金・電話料金（携帯電話を除く）・水道料金・下水道使用料）一括請求による支払事務の簡素化

#### 2 取組期間

平成 28 年度～平成 30 年度（予定）

#### 3 取組概要

各施設の公共料金の支払いの請求書を公共料金ごとにまとめることで支払伝票作成の時間を削減し、紙量の節約となっている。

#### 4 背景・目的

各担当職員が請求書ごとに伝票作成や決裁の事務時間を削減することを主として行っている。また、伝票作成時の紙代やコピーパフォーマンスチャージ料などのランニングコストを下げることができる。

## 5 取組の具体的内容

NTTファイナンス作成による導入資料

### 「おまとめ請求」導入事例のご紹介

#### ■ 通話・通信料金の支払処理にかかる事務処理を軽減

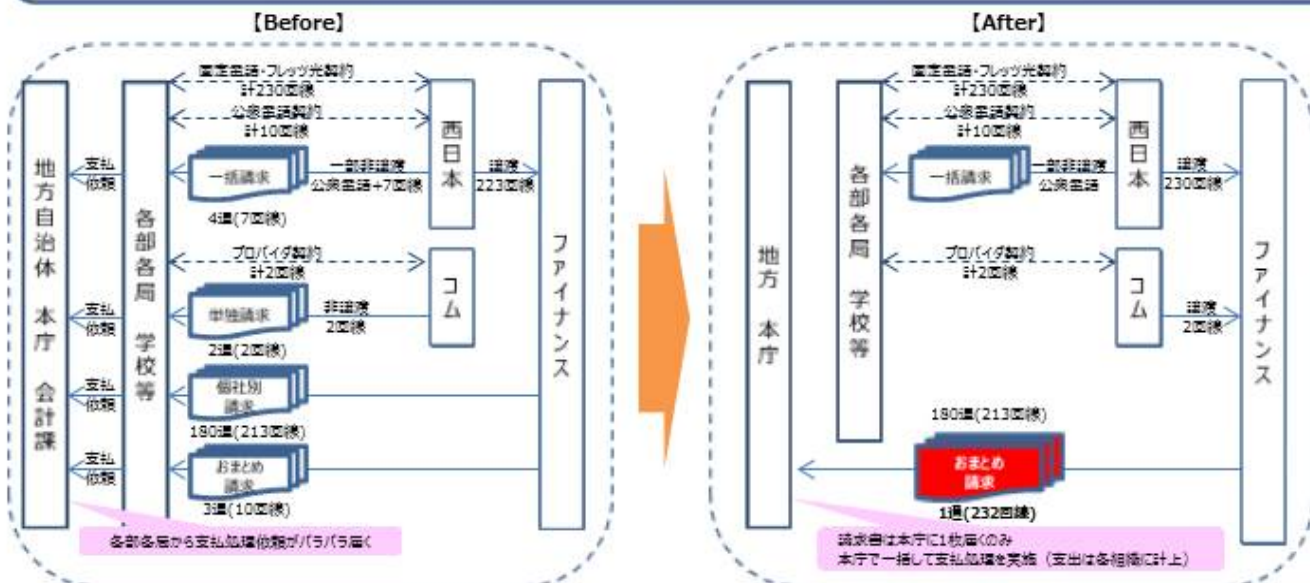
NTTファイナンス



地方自治体様に、おまとめ請求(232回線)を導入いただきました。

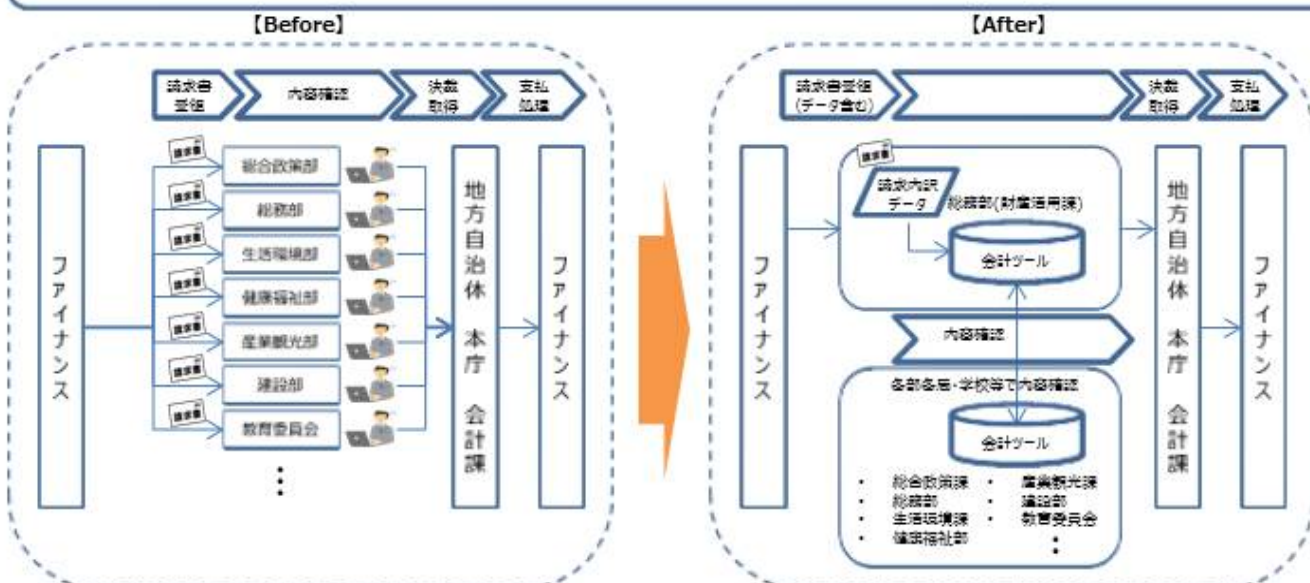
導入前は、請求書が各部各局にバラバラ届き、その都度、支払処理を本庁へ依頼していたため、本庁でもその都度支払処理を行う必要があり、効率化したという希望があった。

導入後は、請求書が1枚になり、請求書の送付・支払処理も本庁で行うため、稼働削減に貢献することができた。



#### ■ 費用管理はWebビリング請求内訳データを活用

Webビリングからダウンロードした請求内訳データを財務会計システムにアップロードすることにより、各部各局の支出に割り振ることができ、費用管理の稼働削減に貢献



## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

ウェブからのデータの取り込みは、ネットワーク分離により使用環境が変わったため手間取ることが想定されたことから、財務会計システムの委託業者へデータの取り込み作業を委託している。

## 7 取組の効果・費用

- ・対象支出伝票数（月平均）約 550 枚が 6 枚程度となり、年間 6,500 枚の紙の削減となる。（電気代 320 枚、電話料金 110 枚、水道料金 80 枚、下水道使用料 40 枚）→概ね 6 枚
- ・労働時間では、市役所内全体では 544 枚×10 分=90 時間/月、1,080 時間/年の事務削減となる
- ・電話料金では、一通につき 100 円の郵送に対する手数料が請求されているため、概ね年間 120,000 円程度の削減となる。
- ・導入時期は、電気代は平成 29 年 5 月から、他は平成 30 年 1 月から実施している。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・それぞれに予算と紐づけが必要となる。
- ・電話料金のみ利用料を算出する期間が年度をまたがる回線がありその情報も必要となる。
- ・会計システム上で担当者の確認作業が必要としているが、慣れるまで時間が必要となる。
- ・一括で請求されるため、予算不足や確認作業が滞り支払いができなかった場合に遅延金が発生する可能性があり、担当職員への周知が必要である。

## 9 今後の予定・構想

公営企業においても、NTT ファイナンスのツールを利用し、有効なものについて支払いの一括請求を実施していく予定である。

## 10 他団体へのアドバイス

業務用携帯電話についても債権譲渡を NTT ファイナンスへ行えば可能であるが、すべてをまとめることで逆に料金が高くなることが判明した。

## 11 取組について記載したホームページ

当該調査に係るウェブサイトでの公表は現時点では実施していない（内部事務に係ることであるため）。